



きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.20-04 2020 Autumn



「御橋観音」：させぼ景観百選より

INDEX

- 2 ● 看護の専門性を高め倫理性を育む
看護部長 井口 恵美子
- 3 ● 井口院長が「Best Doctors in Japan 2020-2021」に
選ばれました
- 4 ● 診療活動の現況 ―循環器内科―
- 6 ● 消防訓練の実施について
● 医療を支える人々
- 7 ● 医療連携室より
● 心理職の取り組み
● 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

佐世保共済病院の理念

博愛の精神 人の和 自己研鑽

基本方針

1. 地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2. 他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3. 新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4. それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5. 病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。

看護の専門性を高め倫理性を育む



看護部長 井口 恵美子

コロナ禍での暑い夏を終え、季節は何もなかったかのように秋を迎えています。当院は感染症指定病院ではありませんが、ゴールデンウィーク・お盆の帰省など人の動きによる陽性者の複数発生に伴い後方病院としての受け入れ体制を整えました。市中の感染の動向に一喜一憂し、気持ちの整理が付かないまま目の前の変化に立ち向かっている状況です。実践の場で直接関わる職員の緊張は如何ばかりかと思えない敵に憤りを感じずにはられません。これからも他の医療機関と協力して新型コロナ対応に努めていきたいと思えます。

さてそのような中でも、看護部では看護の専門性を向上すべく当院在籍の特定看護師・認定看護師の協力を得て、昨年より院内認定看護師の育成を始めました。目的は、“部署の役割モデルとして時代に求められる質の高い看護が提供できる看護師の育成”です。初年度は「CV ポート穿刺」で6名「せん妄ケア」で8名が誕生し、今年はおむつマイスター」と昨年に引き続き「せん妄ケア」の2分野で進めています。7月1日に認定証を手渡したばかりで先駆者の活動を評価するにはまだ十分な期間を確保できていませんが、今後も後進が先輩の姿に刺激

を受け、あたりまえのように資格を取得する環境を作っていきたいと思えます。

また、今年度新たに認知症看護が1名加わり、当院の認定看護師は8分野13名になりました。疾病としてではなく認知症をベースに入院してこられる患者さんも多いことから、超高齢化時代に必要不可欠な専門分野といえます。認知症対応力向上研修を修了した各部署のスタッフ70名とともに、これまで以上に心穏やかに入院生活を送っていただけるよう療養環境を整えていきたいと思えます。

それから、特定行為ができる看護師の育成も計画的に進めています。平成30年度に“創傷管理”で1名、令和元年度に“呼吸管理”で1名が誕生しています。それぞれが5年以上の認定看護師経験を経ており、すでに院内での認知も高いことから無理なく特定行為が行えています。当院医師不足の環境を微力ながら補い、入院中の患者さんが医師不在中でも手順書に基づき継続的にケアを受けることができるよう環境を整えています。

これからも患者さんに安全で優しい看護が提供できるよう看護の専門性を高め倫理性を育んでいきたいと思えます。

評価上位者を「名医」として認定

ベストドクターズ社は世界各国の名医データベースを提供している会社です。その選出方法は、医師に対して「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から関連専門分野の医師間で相互評価を行い、評価上位者を「名医」として認定しています。令和2年3月現在、日本でベストドクターズとして認定されている医師は約6,500名だそうです。

井口院長は消化器がん（肝胆膵領域・膵がん）が専門です。佐世保共済病院では、平成29年4月に佐世保県北医療圏としては初めてとなる「腫瘍内科」を開設し、がんの治療とりわけがん化学療法に注力しています。国民の2人に1人ががんに罹患する時代となりましたが、佐世保共済病院では地域の医療機関との連携を図り、今後とも患者さんに寄り添ったがん医療を提供してゆく所存です。



井口院長



井口院長のプロフィール

- 出身地 福岡県福岡市
- 出身大学（卒年） 九州大学医学部大学院（昭和56年）
- 主な職歴
昭和61年 国立病院機構九州がんセンター
・内科医長 兼 臨床研究部室長
平成17年 国立病院機構四国がんセンター
・臨床研究センター長
- 専門領域 化学療法（肝胆膵がん）、がん骨転移
- 所属学会
日本内科学会（専門医・指導医）
日本消化器病学会（専門医・指導医）
日本膵臓学会（指導医）
日本臨床腫瘍学会
日本癌学会
米国臨床腫瘍学会（ASCO・active member）
欧州臨床腫瘍学会（ESMO・active member）





— 循環器内科 —

循環器内科部長 金谷 誠司

● はじめに

近年、人口の高齢化や疾病構造の変化により、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、心臓弁膜症（特に大動脈弁狭窄症）、高血圧性心疾患・心房細動などを基礎心疾患とする心不全患者さんが増加しています。また一人の患者さんが複数の循環器疾患を持っていることも珍しくありません。心臓病は怖い恐ろしい病気だというイメージがありますが、決してそうではありません。正しく理解し、適切な処置や治療をうけ、さらに予防策を講じてゆけば良い効果が期待できます。むやみに怖がる必要はありません。私たちは常に患者さん中心の最適な医療を目指して診療を行っています。

● 当科の紹介

2010年に私が常勤として赴任し、専門領域として携わってきた心臓カテーテル検査・治療を久留米大学からの非常勤医師とともに再開し、2013年に常勤医2名へ増員となりました。

2019年からはさらに1名が大学での研究と兼務という形ではありますが増員となり、常勤医3名、非常勤医3名で可能な限り24時間体制で診療を行っております。

外来は毎日1-2名が担当し、心電図、心エコー図、運動負荷心電図、24時間心電図、薬物負荷心筋シンチグラム、冠動脈CT、心臓カテーテル検査が可能です。

これらの検査結果をもとに、薬物療法、心臓カテーテル治療、ペースメーカー植え込み手術を行っています。心原性ショックには大動脈バルーンポンピング（IABP）を併用し、腎不全を伴った重症の心不全症例には腎臓内科の協力で持続血液濾過透析（CHDF）の短期併用による治療も行っています。

【主な疾患】

冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞）、心臓弁膜症（大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症など）、心不全、心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症など）、先天性心疾患、高血圧症、不整脈（心房細動、上室性不整脈、徐脈性不整脈など）、大動脈瘤（胸部・腹部大動脈瘤）、急性大動脈解離、末梢血管障害（下肢閉塞性動脈硬化症など）、下肢静脈血栓症、肺塞栓症

【主な検査】

12 誘導心電図

安静時の心電図検査で、不整脈、心肥大、心筋梗塞などの診断を行います。

運動負荷心電図

階段昇降やトレッドミルで、労作性狭心症の診断や運動耐容能の評価を行います。

ホルター心電図

24時間心電図を記録し、診察室では再現できない不整脈や虚血性心疾患の診断をします。

イベントレコーダー

より長時間（最大2週間）の心電図記録により不整脈による失神の診断などを行います。

心臓超音波検査

心臓の形の異常や壁の動き、弁の機能をみる検査です。心臓の中の圧を推定することもできます。

心臓核医学検査

心筋に取り込まれる核種を注射して、虚血性心疾患の診断や壁運動の評価などを行う検査です。

冠動脈CT検査

冠動脈の狭窄（動脈硬化で狭くなった部位）の有無を評価する検査です。

当院では2020年4月に320列CT装置（Canon製 Aquilion ONE PRISM Edition）が導入され、不整脈がある患者さんや石灰化を有する冠動脈でもこれまでより鮮明な画像が得ることができます。

心臓カテーテル検査

カテーテルという細い管を手首や足の付け根の動

検査・観血的治療件数

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
心臓カテーテル検査	104	105	102	96	114	140	152	93	103	101
カテーテル治療	32	26	37	30	32	47	48	14	27	27
ペースメーカー治療	11	10	14	14	13	15	12	6	6	8
心筋シンチグラム	13	2	2	4	8	10	7	20	27	
心エコー(経胸)	2101	2164	2306	2364	2310	2348	2355	2232	2081	2075
心エコー(経食道)	10	9	11	8	12	9	15	14	4	0
運動負荷試験	85	100	48	52	54	79	106	49	48	56
マスター負荷	230	294	436	387	246	226	343	405	382	402
冠動脈CT	50	58	51	47	45	50	62	61	75	109
循環器医	3	2	2	2	2	2	2	1	1(2)	1

脈から心臓の近くまで挿入し、冠動脈の入り口から造影剤を注入し、冠動脈の異常を診断します。また、首や足の付け根の静脈からカテーテルを挿入し、心機能や心臓の中の圧力などを測定し心不全の状態を評価します。

【主な治療】

心臓カテーテル治療

風船やステントと呼ばれる金属のチューブを拡張して冠動脈の狭いところを拡げるカテーテル手術です。

急性心筋梗塞や不安定狭心症などに緊急で行う場合と、心臓カテーテル検査で治療の必要があるとされた患者さんに待機的に行う場合があります。

ペースメーカー植え込み手術

脈拍が極端に遅いため時に失神（意識消失）を生じる患者さんに行う治療です。MRI対応ペースメーカーの場合は、ペースメーカー治療後もMRIの撮影を受けることが可能です。

【循環器専門治療のうち当院で行っていないもの】

カテーテル・アブレーション（カテーテルを使った不整脈治療）

心臓再同期療法（重症心不全に対する両心室ペースメーカー治療）

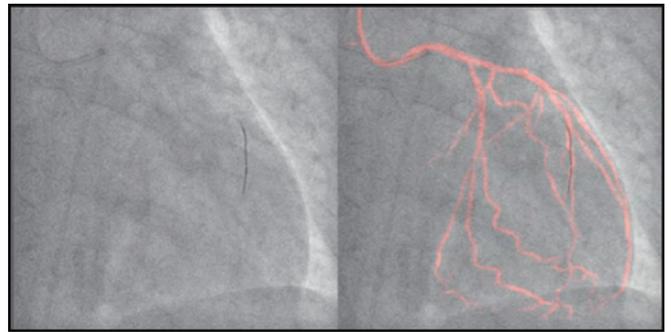
植え込み型除細動器

心臓血管外科手術

●最新血管造影装置の導入

当院では2020年9月に15年ぶりに最新の血管造影装置（PHILIPS社製 Azurion7B20/12インチバイプレーンシステム）を導入しました。

この装置は最大66%の被ばく低減を実現しながら従来以上の高精細な診断画像を描出でき、デバイスの視認性を向上するステント強調処理機能や造影剤量を減らし治療支援になり得る冠動脈リアルタイム



ライブ透視画像

Dynamic Cardiac Roadmap

リアルタイム動画ロードマップ機能

ロードマップ機能により追加造影が減少し、

- ・造影剤使用量の低減
 - ・被ばく低減
- を両立します。

ム動画ロードマップ機能などがあります。またバイプレーンシステムにより一回の造影で2方向の撮影ができることから被ばくと造影剤使用量の低減や手技時間の短縮が実現できます。

●最後に

内科とひとことで言ってもその専門分野は多岐にわたり、それぞれの分野において治療法、薬剤、治療器具などは日々新しくなっており、患者さんによっては専門的治療が必要とされます。当院では循環器領域における専門的治療が可能であり、佐世保市の基幹病院の一つとして、他の基幹病院と協力しながら循環器救急を積極的に受け入れ、高度先進医療が必要な場合には久留米大学病院と協力して患者さんに最も良い治療が行えるように頑張っています。

体を動かすと胸が痛くなる方は普段は何ともなくても狭心症の可能性があります。冷や汗を伴うような胸の痛みが続く方は心筋梗塞かもしれませんので、夜間でも休日でも遠慮せずに来院してください。また、他の症状でも心臓が気になる方は早めにご相談ください。



金谷先生（後列右上）とスタッフ一同

北館 6 階南病棟から夜間に出火との想定で実施

消防法で年 2 回以上訓練が義務付けられている消防訓練を、7 月 29 日 (水) に消防局立ち会いの下、北館 6 階南病棟から夜間に出火との想定で実施いたしました。今回はコロナ禍でもあり、疑似症患者 1 名も入院中との設定です。感知器作動でスタート。看護師 2 名が火元を見つけ消火器や散水栓で消火を試みますが、延焼拡大し患者の避難が急務となります。ナースステーション待機の看護師は防災センターへ連絡、応援を要請。自力歩行、車椅子、ベッド搬送の患者を避難誘導します (写真 1)。疑似症患者は防護服で誘導します (写真 2)。全員の避難が完了し消

防士へ火災状況、患者・職員の数など報告し訓練は終了です。

消防局の方に講評をお願いし、現場と防災センター間の情報伝達、役割分担の重要性などのアドバイスを受けました。特に関心を惹いたのは誘導までに時間がかかった疑似症患者への対応です。「有事の際には感染防止は 2 次的なこと。目の前に救出を求める患者がいれば救出が先決。」「そういう業務に携わっているという使命感を持って事に当たっていただきたい。」との言葉をいただきました。暑い中での訓練を終え、改善点は多かったものの、有意義なものになったのではと思います。



写真 1



写真 2

医療を支える人々

放射線検査科

放射線検査科 技師長 坂田 義信

【当科の紹介】

現在、診療放射線技師 11 名、X 線助手 5 名のスタッフで、各種画像検査・管理など、放射線科外来と連携しながら、それぞれの業務に携わっています。検査機器は、一般撮影装置、マンモグラフィ装置、デジタル X 線透視診断装置、CT 装置、MRI 装置、血管造影撮影装置、ガンマカメラ (RI 検査)、骨密度測定装置を揃えています。

【最近の動向】

今年の 4 月に約 12 年ぶりに新しく 320 列 CT 装置 (Canon 製 Aquilion ONE) を導入しました。高速ヘリカルスキャンや、X 線管球 1 回転で最大 16cm の範囲を最短 0.275 秒で撮影することが可能です。さらに 9 月には 15 年ぶり

に新しくパイプライン型血管撮影装置 (PHILIPS 製 Azurion 7) を導入しました。これにより 2 方向同時撮影が可能となり、心カテの検査効率の向上に繋がります。これまで装置の老朽化の為、画像の劣化や突発的な故障など、検査や診療体制に多大な影響を及ぼしてきた事と思います。

放射線検査領域の医療機器の進歩はめまぐるしく、当院の CT 装置のように人工知能 AI 技術を利用する深層学習 (Deep Learning) 搭載の装置も出てきています。新しく更新された最新装置を用い、被曝の低減と安全で質の高い放射線医療を提供し続けていきたいと思っています。また、院内のみならず地域医療 (共同利

用) にも貢献いたします。



Canon 製 CT 装置



PHILIPS 製 血管撮影装置
坂田技師長 (一番左) とスタッフ一同



米海軍佐世保診療所

所長 **カイル ダーム** 先生
検眼医学博士 (OD)



カイル ダーム中佐 クレイグ トーマス少佐

Q. 自己紹介をお願いします。

カイル ダーム中佐：

私は米海軍佐世保診療所所長（幹部管理職）をしています。私は検眼医学博士 (OD) で、航空宇宙検眼医として特別な飛行訓練を受けてきました。2019年6月に米海軍佐世保診療所所長に就任し、任期は2022年6月までの予定です。

クレイグ トーマス少佐：

私は米軍診療所医官の長をしています。家庭医療学会認定の医学博士です。2019年7月より2022年7月まで勤務する予定です。

Q. 診療所の特色は？

当診療所は米海軍横須賀基地病院を本院とするブランチ（支所）の役割を担っており、主に外来診療と初期救急を行っています。診療内容はプライマリケア、眼科、歯科、理学療法、予防医学、メンタルヘルス、それに薬局の機能も有しています。ただし、難度の高いケースへの対応は困難で、検査に関しても単純X線写真、心電図、それに一部の超音波検査（産科）ぐらいしか対応できません。当診療所に対応できない専門医療や救急医療が必要なケースについては佐世保市の医療機関にお世話になっています。

Q. 佐世保共済病院への要望は？

佐世保共済病院の支援（好意）によって産科と耳鼻咽喉科の受診数を増やすことができました。とりわけ、耳鼻咽喉科では手術患者を受け入れていただき、大いに助かっています（放射線科の野々下先生と耳鼻科の吉田先生に感謝の言葉をいただいています）。

要望としては、整形外科の患者受入れ数を増やして頂けるとありがたいです。佐世保共済病院との繋がりを心から大切だと思っており、当診療所および在日米軍とその家族へのサポートに心より感謝いたします。

心理職の取り組み

新型コロナウイルス感染症流行期に

公認心理師 富崎 朋子

佐世保共済病院では新型コロナウイルス感染症の流行に伴い様々な対応を行っています。今回は、一般病院では珍しい心理職がいる当院ならではの取り組みをご紹介します。

一つ目は、多くの部署に設置されている透明シールドをカウンセリングルームにも設置し、窓を2か所開けて換気をしながら心理面接（カウンセリング）を行うことで感染予防に努めています。また流行期には、可能な限り外来等での心理面接を行い、患者さんの移動を少なくして少しでも安全を守れるよう心がけています。他には下記のような取り組みを行っています。

これらを実行するに当たっては、院

内の多くの部署の方々の手助けをいただいています。新しい取り組みのアイデアが浮かんだ時、私の話に耳を傾け、実現に向けて力を貸してくれるスタッフの方々に支えられて日々の業務を円

滑に行うことができています。これからも感謝の気持ちを忘れず、心理職として皆様のメンタルサポートにつながる取り組みを丁寧に行っていききたいと思います。

心理職の取り組み

〈患者さんに向けた取り組み〉

- コロナ禍で心身を健康に保つための資料提供（現在は日本ストレスマネジメント学会からの資料を各科外来に置いています）
- リモートカウンセリング（必要時に医師の指示で行います）

〈職員のための取り組み〉

- コロナ禍のメンタルヘルスに関する研修
- 職員とその家族のためのメンタルサポート窓口の開設
- 個別のカウンセリング（予約制）
- メンタルチェック（ストレスなどの検査を希望者に実施中）
- コロナ禍のメンタルヘルス等に関する情報提供（カウンセリングルーム便りに掲載）



編集後記

最近3密を避けての釣りや自宅で行うフィットネスゲームなどがマイブームとなっています。今後はインフルエンザの流行時期も重なるため、これまで以上にソーシャルディスタンスを保ち感染予防に努めたいと思います。

編集委員 永田 敬博

外来診療担当表

令和2年10月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患
	医員	山崎 政虎					●				●		腎臓疾患
	〃	末永 敦彦	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	〃	川崎 修平	●						●				循環器疾患
	非常勤	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	熊埜御堂淳									●		循環器疾患
呼吸器内科	〃	津留 智子	●	●									循環器疾患
	非常勤	坂本 藍子					●						呼吸器疾患
	〃	安藤 裕之									●		呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤	梶谷 祐介					※	※					※第1・3・5週
	〃	竹野 歩					※	※					※第2・4週
消化器内科	部長	河野 健次			※			●					肝臓疾患、糖尿病 ※第1・3・5週
	非常勤	藤松 雅彦						■					消化器内科
	〃	萩原 久美				※							消化器内科 ※第1・3・5週
腫瘍内科	院長	井口 東郎					●						膵がん・胆道がん
	医長	二尾 健太	●				●		■		●		1.消化器がん(食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど) 2.乳がん、3.原発不明癌、4.肉腫(GIST・軟部肉腫)・その他
	医員	今嶋 亮志	■	●					●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
外科	副院長	井原 司					●		●				乳腺外科・一般外科
	乳腺外科部長	原田 洋					●				●		乳腺外科・一般外科
	消化器外科部長	富崎 真一	●	●			●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医員	内野 馨博		●							●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	〃	橋本 和晃					●		●				一般外科
	非常勤	川畑 方博					●						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
	乳腺外来			■	■	■						■	
小児科	部長	上玉利 彰	●		●				●				小児血液、小児がん、小児一般
	アレルギーセンター長	合田 裕治	■		■		■		■	▲	■		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
	医長	金城 勤也			●		●		※		●		小児一般 ※第3週を除く
	顧問	岡 尚記	●				●	▲		▲	●		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
	アレルギーセンター副顧問	濱崎 雄平							※	※			小児アレルギー疾患(※第3週)
	乳児健診				●								火曜 13時から診察開始 14時までに受付を行って下さい
	慢性外来						●						水曜 14時から診察開始
脳神経外科	部長	山川 勇造		●			●	●	●		●		脳神経外科一般 午後は13時30分から診察開始 16時までに受付を行って下さい
		応援医師			●								火曜日 9時30分から診察開始
整形外科	部長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害
	医長	内村 大輝			●		●		●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	上田 幸輝	●				●				●		膝・肩関節疾患、腫瘍
	〃	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患
	〃	千住 隆博	●	●					●				股関節疾患、上肢の外科(肩肘手)
	医員	田代 英慈	●						●				整形外科一般
泌尿器科	部長	中村 貴生	▲		■		■		■				泌尿器疾患 ▲月1回奇数週(第1又は第3週)
	医員	湯野 努	▲		■			■			■		▲第2、第4週
	〃	左川 遼	■				■				■		
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		▲		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	〃	木下 秀一郎			●		●		▲		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医長	二尾 愛	▲		●				●		●		●：婦人科診察日 ▲：産科診察日
	医員	伊與田 彩	●		●			▲			●		
眼科	医員	野田 龍之介	●				●		●		▲		
	医員	藤田 皓	■		■	※	■	※	■		■	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
		※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)											
耳鼻咽喉科	医長	吉田 崇正	●		●		●		●		●		鼻科・耳科疾患、聴覚疾患、耳鼻咽喉科一般
	医員	緒方 政彦	●		●		●		●		●		
放射線科	部長	川原 康弘	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	放射線検査科部長	野々下政昭											
麻酔科	医長	江畑 智広											
	診療部長	深野 拓			■		■		■		■		月～金午前：ペイン・緩和ケア・術前外来
	医長	松永 祥志	■		■		■		■		■		月～金午後：手術麻酔
	〃	木本 文子	■		■		■		■		■		
ペインクリニック	非常勤	別府 幸岐	■		■		■		■		■		
	部長	境 徹也	■		■		■		■		■		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
	部長	窪田 泰孝	●	●	●	●	●	■	●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
歯科口腔外科	医員	今利 一寿	●	●	●	●	●	■	●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
	〃	濱田 雄太	●	●	●	●	●	■	●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信											※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155
	医員	原 敬一											

●：診療日 ■：予約のみ